

三峰山への土砂投棄は市土砂条例違反

井之川議員の質問に市長が明確に答弁

7日から始まった9月議会一般質問の9日に行った井之川博幸議員は、三峰山への土砂投棄について、「沼田市土砂等による埋立等の規制に関する条例は、面積が500㎡以上3,000㎡未満の埋立等を行おうとするときは、原則として市長の許可が必要となります。」となっているので、許可どころか申請もしていない今回の土砂投棄は、明確な違反であると確認したいと質問しました。市長は、「明確な違反」であると答弁しました。



井之川博幸市議

ただし市長は、「違反であるので、申請するよう指導している」とも答え、現在は、「投棄されている土砂が産業廃棄物の疑いがあり、群馬県が調査を行っているので、その結果待ちである」と答弁しました。

6月下旬、この問題が発覚し、市と県の調査を行ったときは、「産業廃棄物としては認められない」との県の態度でしたが、「産業廃棄物」の調査を日常的に行っている「群馬オンブズマン」などの人たちと井之川博幸議員は、8月23日、日本共産党県議団の力も借りながら群馬県廃棄物リサイクル課の職員と面談し、科学的根拠も示しながら、再調査を求めました。現在その再調査の結果待ちになっています。

中央公民館代替施設使用窓口の一元化及び空き室情報の改善へ

井之川議員の質問に、市長は、「窓口の一元化は、各施設の調整を早い時期に実施できるよう対応している」、「施設の空き状況をインターネットで公開できるよう取り組んでいる」と答えました。

井之川議員は、全国の先進市町村で取り組んでいるような「インターネット予約で、ほとんどの文化施設・スポーツ施設などの使用申し込みができる」方法を沼田市でも取り入れるよう求めました。

文化団体を（仮称）代替施設利用団体連絡会で組織化を

井之川議員は、中央公民館の廃止でバラバラになっている文化団体を（仮称）代替施設利用団体連絡会で組織化し、「中央公民館利用者の会」のように利用者の声を施設運営に反映させていくことが必要と訴えました。

2020年度沼田市決算に反対・日本共産党

15日に開催された2020年度沼田市決算審査特別委員会で、日本共産党は、採決で井之川、大東両委員が反対しました。

大東委員が反対討論を行い、子育て支援を進める保育料の無料化に国の進める3歳以上の無料化は実施しているが、0歳から2歳までの保育料及び副食費の無料化は前進がなかったこと、また、学校給食費の無料化も全く前進がなかったことなど、及び中心市街地区区画整理事業は、中町、下之町で残された地域は全く進展がなく、この事業はいつ終わる見通しも立っていない状況などを指摘しました。

感染拡大おさまらず！3日は9人 利根沼田管内の新規感染者（前回報告以降）

月日	年齢	性	職業	症状
9/3	10代	女	小学生	咳
	50代	男	沼田市職員	なし
	50代	女	パート従業員	咳
	10代	女	学生	咳、鼻汁、味覚障害
	10未	男	園児	なし
	10未	男	園児	なし
	10未	男	園児	なし
	20代	男	消防職員	咳、咽頭痛
	10未	男	園児	鼻汁、鼻閉
/6	10未	男	園児	なし
/7	20代	男	会社員	発熱、鼻汁、咳
/9	50代	男	契約社員	咽頭痛、倦怠感、発熱、咳
/11	10代	女	学生	発熱、下痢
/13	50代	男	派遣社員	なし



まだまだ油断は禁物です。3日は保育園で大量感染が発生しました！